4.5面見開き 1904.1.1 1:45 AM ページ1 (1,1)



# 子ども議会を開催

**7月12日、町内7小学校と3中学校から選ばれた21人の子ども達が出席し、10回目の子ども議会が開催されました。**

**中谷中学校の保依里さんが議長を務め議事を進行し、子ども議員は壇上に立ちました。日々の学生生活の中で感じていた疑問や希望を次々と元気に質問し、答弁後は再質問もあるなど充実した子ども議会となりました。そのあらましを紹介します。**

## 第1回子ども議会から10年経って…

**子ども議会開催10回目を記念して、第1回子ども議会で猪名川小学校代表として質問をされた安部桃子さんにお話をうかがいました。**

▲安部桃子さん

私が子ども議会に参加したのは、今から10年前の小学6年生のときでした。子ども議員として直接、町長さんなどに質問をすることで、町議会を身近に感じることができました。私はこの議会で、「日生中央駅前とバス停の間に屋根をつけて欲しい」という提案をさせていただきました。日ごろから、駅近くの交差点に駐車してある車が危険だと感じていたからです。この質問後、屋根はすぐに作っていただくことができました。これによって多くの人が東側のロータリーや一時駐車場を利用するようになったのではないでしょうか。今では多くの人が安全かつ快適に利用できるようになりました。

この議会を通して、猪名川町に対して私達にも何かできることがあるのだと気付くことができました。そして、猪名川町のことを考える、良いきっかけとなりました。今後も多くの方に自分達の意見や要望をして欲しいと思います。

これから猪名川町子ども議会を開催いたします。

今、この場に集まった皆さんは、各小学校・中学校の児童の代表として、猪名川町をより住みやすい町にするために、それぞれ一生懸命考えてくださったと思います。

せっかく設けていただいた貴重な機会ですから、しっかりとその思いを伝えましょう。また、他校の友達の質問とその答弁をよく聞いて、学びあいましょう。

私は議長として、この議会で有意義な話し合いができるように、この大役を一生懸命務めたいと思いますので、よろしくお願いします。

この子ども議会を通して、私達子ども達の意見が町政に反映され、猪名川町がより住みやすい町となるように願っています。

## 議長あいさつ

中谷中学校
保 依里議長

## 猪名川中学校

### 災害に備えて

野村心星議員　瀧山富子議員

**【議員】** 今世紀半のうちに東南海・南海地震という、大きな地震が起こると予測されています。学校で救急救命法や避難訓練など学習していますが、災害に遭遇した時は、集団としての動きが大変重要であると聞きます。避難所となった猪名川中学校で、中学生でもできることはないでしょうか。

**【消防長】** 大規模な地震などの大災害が発生した場合、町役場や消防署などの公共防災機関は、総力をあげて災害復旧活動に取り組みます。しかし、阪神・淡路大震災のような同時多発火災など、多くの災害が同時に発生すると、行政機関のみでは対応できません。まず、生徒の皆さん一人ひとりが、地震発生時における学校での避難対応の仕方、また、家庭で発生した場合の対応方法を学び、自分や家族の安全が確保できてから、災害状況に応じて、避難所での食事・支援物資を配る手伝い、救急応急手当の簡単な補助などに参加していただきたいです。「何か自分にできることはしよう」という気持ちをもち、その場、その場で参加することが大事です。ぜひ、そういう気持ちや行動姿勢を持ち続けてください。

## 大島小学校

### 安全な道路にしてほしい

須﨑凌太朗議員　森下 栞議員

**【議員】** 大島小学校では、集団で登下校しています。登下校のときに通る歩道は、場所によって狭い所があり、スピードを出して走ってくる車が、体のすぐ近くを通って、すごく怖い思いをすることがあります。歩道を広げたり、信号を増やして横断しやすくしたり、カーブミラーをつけて、安全な道路にしてほしいです。

**【建設部長】** 旭ヶ丘から六瀬橋の信号までと、県道の杉生地内から大島小学校までは、数年かかって現在の歩道が整備できました。今回、県で大島小学校から尾花橋まで、東側だけですが歩道の整備をしていただくことになりました。完成するまで３年ほどかかる予定ですので、それまでは現在の歩道を気をつけて通学してください。

町では、交通事故をなくすために、お父さん・お母さんの意見を聞いて、危険な所にガードレールやカーブミラーをつけています。また、横断歩道や信号機は、町役場ではなく警察がつけています。危ないと感じるところがあれば、お父さん・お母さんに相談してください。集団登校する時には、上級生が下級生と一緒に、交通ルールを守って安全に登下校してください。

## 白金小学校

### 町を緑に

葛西聡馬議員　上野聖司議員

**【議員】** もっと緑をふやすにはどうすればいいですか。紫合の交差点からとんがり橋の方に向かうと、左の方に見える「パークタウン」の表示をきれいにしたいです。また野球などができる緑の広場があればいいと思います。

**【副町長】** 皆さんには「学校里山整備事業」として森林学習をかねて、その樹木の育成に必要な管理作業などの活動をしていただいています。大人の方には森林ボランティアとして、山林の管理作業や植樹をしていただいています。今後も、たくさんの方々の力を借りながら、山林を皆さんと守っていくことが大切だと考えています。パークタウンの表示については、昔はサツキが植えてありましたが、傾斜のため木の管理も難しく、多額の経費がかかることから、今のように木のかわりに茶色のブロックを用いています。今後、周辺との調和や経費のことも考え、よりよい方法を考えていきます。白金小学校の近くで野球ができる公園としては「登り尾公園」があります。この公園のグラウンドに芝生はありませんが、周りを緑の山々で囲まれたすばらしいところなので、お友達と野球などをしてみてください。

## 中谷中学校

### ホタルのいる川について

川端 隆議員　依藤美樹議員

**【議員】** 毎年のように光を放ちながら飛び交うホタルですが、年々数が減っているように思います。洪水で川の地形が変わっているのも理由の一つだと思いますが、何よりゴミのせいだと思います。これからはポイ捨て禁止の看板を増やして見えやすい所に立て、また、クリーン作戦の区域を拡大して、川でも清掃を行ってはどうでしょうか。

**【町長】** 昨年町内全域で「ホタル生息調査」を行い、町内全域にホタルがいることなどが分かりましたが、「昔に比べてホタルの数が減っている」「観賞に来ている人のマナーが悪い」などの感想もありました。町では、山や川・道路などポイ捨ての量の多いところに優先的に看板や監視カメラを設置しています。皆さんも生き物を守るためにはどのようなことをしていくべきかを考え、仲間達と一緒に自ら行動を起して欲しいと思います。町内では、５・11月のクリーンアップ作戦、７月の河川愛護月間、８月の道路愛護月間など、これらの機会に各地で清掃活動が行われています。また、職員も毎月１回町内をパトロールしています。皆さんもできる限り参加していただき、自らが自然環境に関心を持ち、問題解決に向けて何ができるのかを考え、実践していただくことが重要だと考えます。ぜひ一緒に、清流猪名川に向けた取り組みに協力をお願いします。

**【議員】** 阿古谷川でラブ・リバーのような清掃はできないでしょうか。

**【町長】** それぞれが猪名川を美しくしようという取り組みができるように、町からも皆さんに協力をお願いしていきます。

## 松尾台小学校

### 中谷中学校と地域の協力について

飛山麻衣議員　西田菜帆議員

**【議員】** 私は来年中谷中学校に入学します。中学生になると部活動が楽しみですが、中谷中学校は生徒数が少なく、部活動も少ないようです。地域の方々に協力をしてもらい、運動を教えてもらったり、文化を深めたり、充実した中学生活を送りたいです。地域の方々に部活動にも協力していただけないでしょうか。

**【教育長】** 皆さんが楽しみにしている部活動は、一人ひとりの個性や可能性を伸ばし、いろいろな人間関係を学ぶことができるとともに、強い体や心を磨く活動として、大変意義があるものです。現在「いきいき学校応援団」が、先生と一緒になって授業をしたり、登下校の安全を守ってくださったりしていますが、その方々に部活動の指導をお願いすることは可能だと思います。まず、部として活動が成立する部員数、そして必ず顧問の先生が必要です。昨年度より「中学校部活動指導補助員」制度をつくり、指導員をお願いして、技術指導をしていただいています。また、「猪名川町部活動検討委員会」を設置して検討を続けていますが、地域の方々の協力をいただきながら、部活動を今まで以上に活性化されるよう、努力していきます。

## 楊津小学校

### 安全な通学路と交通事故

柳光智美議員　安倍実羽子議員

**【議員】** 楊津小学校の通学路で、車と児童が衝突しそうになったことがあり、とても怖かったです。毎朝青パトさんが１人来てくださっていますが、人数を増やして欲しいです。また、ガードレールがない所に、ガードレールをつけたり、信号機をつけるなど安全な通学路にして欲しいです。どのようにすれば交通事故を減らせるでしょうか。

**【教育部長】** 町では交通事故をなくすため、平成11年に「交通安全の町」宣言を行い、いろいろな事業を行っていますが、町内の交通事故件数は増えています。交通事故をなくすため、お父さん・お母さんの意見を聞いて、危険な所にガードレールやカーブミラーをつけています。皆さんが青パトを頼りにされていると聞きうれしく思いますが、人数を増やすことは、年間を通しての職員の取り組みであり、難しいです。皆さんも、身近な人が交通事故にあわないように、交通ルールをしっかり守り、思いやりの心をもって声をかけてください。交通事故を減らす第一歩につながると思います。特に、お酒を飲んで車を運転することは、車を凶器に変えることになるので、絶対にしないようご家族にも伝えてください。

## つつじが丘小学校

### 自然が多い町に

五十嵐友樹議員　重成逐介議員

**【議員】** つつじが丘では山の木が切り倒され、一軒家が増えています。つつじが丘中学校予定地には、何も建たないので、大きなマンションを建てて住めば、一軒家が増えず、自然を壊さなくてすむと思います。また、クリーンアップ作戦などのまちの掃除の機会を増やし、地球温暖化防止活動が日本で一番進んだ町にしたいです。

**【町長】** つつじが丘は、計画どおりのまちづくりが進められていますが、中学校については、将来的な生徒数を考慮すると、今のところ建設する見込みがたたない状況です。教育委員会と協議し、中学校用地として進めるか、他の教育施設として利用するか、今後の課題ですが、住民サービスを行うために有効に活用できるように検討していきます。町内の清掃活動については、５・11月のクリーンアップ作戦、７月の河川愛護月間、８月の道路愛護月間など、これらの機会に各地で清掃活動が行われています。また、職員も毎月１回町内をパトロールしています。一人ひとりが努力していただくことによって、地球温暖化防止対策が日本で一番進んだ町となりますので、ご協力をお願いします。

## 阿古谷小学校

### 阿古谷小学校にも公園を

木村まゆ議員　西田果純議員

**【議員】** 他の小学校区には遊具があったり、水に親しめたりする大きな公園がありますが、阿古谷校区にだけは、そんな公園がありません。児童数の少ない学校ですが、遊び場がなくて困っています。子どもがのびのびと遊べたり、自然と親しんだりできる公園をつくってください。

**【建設部長】** 公園をつくる場合、まず考えなければならないことは、どこにつくるかということです。田んぼや畑を公園にする場合は、その持ち主の方に十分な説明やお願いをしたうえで、多くのお金を払って譲ってもらわなければなりませんし、阿古谷地区の田んぼの多くは、いろんな約束ごとがあり、簡単に田んぼを公園に変えることはできません。子ども議会のたびに、このお願いを出していただいていますので、皆さんの気持ちは十分理解していますが、猪名川町は、町全体が公園としての役割をもっています。特に、阿古谷小学校区は、四季を通じて恵まれた自然の中にあり、遊ぶところはたくさんあります。町の豊かな自然を利用し、大都会では味わえない、自然観察や虫取り、魚釣りやハイキングなど、自然を生かした遊びをもっと楽しんでください。

## 猪名川小学校

### 高齢者の方々と触れ合う場面を

栗生和将議員　南方智也議員

**【議員】** これから高齢者の方々がどんどん増えると思います。高齢者の方々がいつまでも元気でいられるために、子ども・地域がしっかりつながり合うことが必要だと思います。私達の校区には「いこいの家」という施設があります。これからこのような施設や高齢者の方々と触れ合う機会は増えるのでしょうか。

**【生活部長】** 現在、高齢者の比率は県下で２番目に低い町ですが、今後はニュータウンでも急速に高齢者が増えることが予想されます。高齢者の皆さんがいつまでも健康で過ごしていただくために、いろいろな人達と交流できる場所として「若葉いこいの家」が完成し、高齢者だけではなく、小中学生の皆さんもたくさん利用されています。この「いこいの家」のような場所が、ほかの地域にもっと増えるように、社会福祉協議会と一緒になって、自治会の皆さんにお願いしていきたいと思います。

高齢者の皆さんとの「ふれあい」については、各地域に老人クラブや自治会館があります。また、皆さんの登下校時に、見守り活動をしていただいていますが、これもふれあいの一つですので、ぜひ感謝の声をかけてみてください。

## 六瀬中学校

### 街灯について

永田智美議員　須﨑有稀議員

**【議員】** 私の住んでいる旭ヶ丘では、少し横道に入ると街灯がほとんどなく、とても暗いです。部活動が終わって帰宅するときに暗くて怖いです。街灯をもう少し増やすことはできませんか。

**【総務部長】** 安全安心のまちをめざし、夜道を明るく照らすことによって、犯罪を起こしにくくする環境をつくるため、ライトアップ作戦として町内全域に防犯灯を設置しています。それでも暗く危険なところがあるかもしれないので、自治会から要望を受け付け、できるだけ設置するようにしています。通学路、近所で暗いと思うところがあれば、お父さん・お母さんと話をし、自治会長さんを通じて役場まで連絡してください。防犯灯の要望をするとき、皆さん自身も実際に歩いて調査をするなど、どこが危険で、どうすれば安全になり、自分は何をすればより安全になるのかなど大人の方と一緒に話し合ってみてください。地域で話し合うことがお互いに顔見知りになるきっかけとなり、普段から声をかけ、あいさつをする関係となり、地域全体での安全につながります。役場と住民の皆さんが一緒になって、安全で安心なまちにしましょう。